



# 日本共産党 市議会報告



市議会議員  
元木美奈子

入船 4-37-14  
☎355-8526  
minamonton@  
jcom.home.ne.jp



市議会議員  
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203  
☎354-9269  
m5mise@jcom.  
home.ne.jp

11年6月20日 第1172号  
【発行】  
日本共産党浦安市議団  
市役所内控え室(議会議棟1階)  
☎&FAX (350)1243

子育ても老後も安心  
住み続けたい浦安を



## 「福島原発の危機収束と救援、復旧・復興を」 「原発をゼロにする期限を切ったプログラムの作成を」

放射能被害は、東北や関東地方など広範囲に及ぶ未曾

**国の責任で、東電による被害者救援・復旧・復興を**

すみやかに、わかりやすく知らされてこそ、国民も冷静な判断ができます。

大震災の被害を広げてしまった原子力発電所の事故の事態は、ますます深刻の度を増しています。原発の周辺地域では、いつ戻れるかまったく見通しの立たない避難が行われ、住民の苦しみは計り知れません。政府と東京電力は、事故の現状、放射能データなど、正確な情報を全面的に開示し、さまざまな分野の専門家、研究者、技術者の知恵と能力を総結集して一日も早い収束に総力をあげることが求められています。

### 危機収束に情報開示を

日本共産党浦安市議団は、議会「こと」に意見書の発議提案を行なっています。6月議会は、国に対し、福島原発事故の一日も早い収束に総力をあげ救援、復旧復興を求め、「原発から撤退を断然し、原発をゼロにする期限を切ったプログラムの作成をするよう求める」2本の意見書を提出する予定です。議決できるよう他会派に協力を要請します。

有の大災害となっており、政治の責任で、被災者が明日への希望と展望を持てるようにすべきです。

国の責任で、東電による被害者への全面的な賠償、広域的な避難者への生活支援、自治機能の確保、被害への全面補償、地域の再生、住民の健康管理など原子力災害への緊急対策を一刻も早く講じるとともに、故郷へ戻れる見通しを示すことが求められています。

### 原発の危険性深刻

現在、原発の技術は本質的に未完成であり、莫大な放射性物質を閉じ込めておく完全な技術は存在せず、安全な原発などありえません。震源域の上に原発が立地



しているのは、世界でも日本だけです。地震や津波の影響で甚大な被害を受けたことから危険極まりないことはすでに明らかになっています。ひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたって影響を及ぼす原発を、とりわけ地震・津波の危険の大きな国・日本において、私たちが日本国民が社会的に許容していいのか。現在の原発と日本社会は共存しうるのかが問われています。

### 原発からの撤退の決断、5、10年以内に原発ゼロのプログラムを

原発の縮減・廃止を求める声が、世論調査でも過半数を超えています。原発の危険性を直視し、福島原発事故の教訓を受け止めたエネルギー政策が必要で、原発依存から自然・再生可能エネルギーの本格的利用への抜本的転換のために、期限を決めた原発からの撤退を断し、原発をゼロにする期限を切ったプログラムの作成をすることを求めます。

日本共産党  
浦安市議団

# 津波・原発被害の福島県 南相馬市をたずねました



給食センターに  
野菜を届けました



## 広大な津波被害



武道場に1年生(40人)・2年生(43人)の各  
教室と職員室、保健室が配置されている。  
3年生47人は通常一クラスの普通教室に。

## すし詰め状態の学校

日本共産党浦安市議団は、  
5月31日・1日、南相馬市  
をたずねてボランティア活  
動と市内状況の調査をおこ  
ないました。  
南相馬市は東日本大震災  
で津波被害とともに原発被  
害に見舞われた町です。平  
成18年1月1日、旧小高  
町、旧鹿島町、旧原町市  
の1市2町が合併して  
誕生しました。津波被害  
の荒涼とした景色は、テ  
レビで何度も見ている

### 20キロ圏域の 出入り口⇒

歩道橋のある幹線  
道路の路肩に  
乗り上げた船



にもかかわらず、実際に目の  
前にした風景に言葉を失って  
しまいました。  
鹿島中学校には、20キロ圏  
域から避難した生徒たちが5  
校から集まり、武道場や教室  
を間仕切りして、すし詰め状  
態で学習しています。  
精密機械の金型工場では、  
製品の風評被害の影響で生産  
が半分に落ち込み、「どこまで  
続くのか、先が見えず苦しい」  
と話す経営者は、「従業員を解  
雇するわけにはいかない」と  
話しまし  
た。

20キロ圏域の出入り口には  
機動隊が配備され、市内には  
自衛隊の中継所が各地に  
設置され、戦時中を思い出さ  
せる様子でした。一時避難し  
た人たちが少しずつ戻りつ  
つありますが、市内には人が  
少なく静かです。  
安全対策をなおざりにし  
て原発を推進してきた政府  
と電力会社の責任は重大で  
す。政治の責任で被災者が希  
望と展望がもてるよう、早期  
収束を願わずにはいられま  
せん。



## 工業製品にも風評被害が